

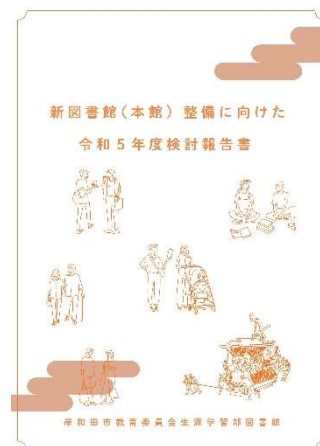
NEWS

庁内で、新図書館（本館）整備に向けた検討を始めました。

令和4年度、教育委員会で「岸和田市図書館のありかた」をまとめました。

図書館の利用状況や課題に加え、これまでの市民参画の実践から、図書館の基本理念や目指す方向性などを記載しています。図書館の老朽化や狭隘化、エレベーター未設置など、課題は多くありますが、これからの図書館を考える際、市のまちづくりの方向性や、公共施設整備の方向性と合わせて考える必要があります。

そこで令和5年度、「新図書館整備庁内検討委員会」を立ち上げ、立地と複合化の可能性について検討を始めました。丁寧な議論が必要となるため、令和5年度は立地候補地の可能性についてまとめました。



今後も引き続き庁内での検討や市民のニーズ調査、市民共創の実践を行いながら、新図書館（本館）整備に向けた検討を進めます。

岸和田ブックフェスタ 2024・秋 いろいろな場所でつながります！

市民共創の図書館づくりを目指した学びと実践で、いろいろな立場の人と情報がつながってきています。図書館の中だけではなく、地域にもまちライブラリーの輪が少しずつ広がっているほか、地域の本のある場所とつながる企画も生まれてきています。現在、まちライブラリーブック・フェスタジャパン 2024」のパンフレットにも掲載いただき、岸和田にあるまちライブラリーやとも連携して企画を検討しているところです。

岸和田でのまちライブラリーの取り組みは、市民のみなさんとの学びと実践の場から生まれています。「ゆるく、細く、長く」をモットーに、「やってみたいことをやりたい人がやってみる」。それが長続きの秘訣かもしれません。

★「岸和田ブックフェスタ2024・秋」10月20日（日）～ 11月10日（日）★

岸和田ブックフェスタ2023・秋の様子



「岸和田お話し屋」はじめています～図書館とまちの未来を考える取り組み～

図書館を利用していない人の声を聞くため、図書館から外に出て、まちなかを歩いている人たちにインタビューする形で岸和田のまちの好きなところ、よく行くところ、課題だと思うところ、図書館のこと等を聞いて回る「岸和田お話し屋」。令和5年度からはじめています。市内のどこに出没するかわかりません！お会いできた際には、ぜひ声を聞かせてください！！



まちで出会った
みなさんの声

- 子どもと一緒に楽しめて、学びがあればなお OK！
- 静かにしないといけないイメージがあって行かない。
- 子どもが遊べるスペースがあるとよい。
- 駅前商店街がもっとにぎやかになるといい。買い物は春木に行く。
- 人のつながり！住めば住むほど好きになる。音楽もできる図書館になったらいい。
- 駅前を活性化してほしい。子どもが過ごしやすくしてほしい。
- 娘が図書館の自習室を使っているけど、図書館内が暗い。休日はカフェで過ごしたい。
- 和歌山のような1日過ごせる図書館があるとよい。
- 野田公園によく行く。子どもが少し騒いでも良いスペースがある図書館がよい。
- グレーゾーンのある図書館があるとよい。「映画×Bar×市民芸術」など、本と映画について語る会とか開きたい。
- スーパーやマクドナルドが近くにある泉大津の図書館によく行く。そういう図書館があった行く。
- 駅前がさみしい。山手はいろいろ出来てきているのに。図書館をつくるなら、もっと市民の声を聞いて考えた方がよいのでは。
- 図書館は駅から離れていて仕事帰りに寄れない。中央公園の横ならいいのに。テーマパーク性をもたせるなど工夫しないと。
- まちの情報が一括で把握できるサービス・場所があったらよい。
- 泉大津は発展。岸和田は？商店街にもっと活気があふれたらよい。
- 図書館は岸和田の昔の資料を見に行くが、調べたい本が閉架書庫にあり読みにくい。もっと気軽に読めたらいいのに。

